

令和 2 年第 2 6 回公安委員会会議録

日 時	自午後 1 時 3 0 分 1 0 月 2 2 日（木曜日） 至午後 5 時 0 0 分	場 所	公安委員会室
会 議	公安委員	小野委員長 下山委員 原委員 山本委員 高木委員	
出席者	警察職員	本部長 警務部長 生活安全部長 刑事部長 交通部長 警備部長 情報通信部長	

第 1 聴聞等についての決裁

運転免許課長から、聴聞 1 0 件、意見の聴取 1 4 件について説明があり、決裁が行われた。

第 2 定例会議

1 サイバー防犯ボランティアの活動状況等について

(1) 大学生サイバー防犯ボランティア「KC3」の内閣総理大臣表彰の受賞

ア 表彰種別

令和 2 年安全安心なまちづくり関係（防犯活動）功労者表彰

イ 受賞日時等

○ 1 0 月 1 6 日（金）午後 3 時

○ 内閣総理大臣官邸 大ホール

ウ 功労概要

○ サイバーパトロールにより発見した違法・有害情報の関係機関への通報

○ 大規模災害発生時におけるデマ情報の収集と警察への情報提供

○ 児童生徒、保護者、高齢者等、対象に合わせたサイバー防犯講話

○ サイバー犯罪被害防止ポスターやチラシの作成、配布による広報啓発活動

○ 学校、企業等に対するボランティア活動の裾野拡大に向けた取組

エ その他

「KC3」は、平成 2 7 年 4 月に県内 4 大学（熊本学園大学、熊本県立大学、東海大学熊本キャンパス及び崇城大学）で結成され、本年度は 5 1 人が活動している。

(2) 高校生サイバーセキュリティ・プレゼンコンペティションの開催

ア 開催日時

1 0 月 1 8 日（日）午前 1 0 時から午前 1 1 時 3 0 分までの間

イ 概要

高校生サイバー防犯ボランティア「サイバーインフィニティズ R 0 1」として活動する高等学校等の学生が、情報モラルの向上を図る目的で作成したインターネットの脅威に関する広報啓発動画を W e b 会議システムを使用して発表したもので、発表作品は、繁華街の街頭モニターでの放映を始め、県警ホームページ、Y o u T u b e 等に掲載予定である。

ウ その他

「サイバーインフィニティズR01」は、令和元年9月に県内の3校（県立菊池高等学校、私立熊本学園大学附属高等学校及び国立熊本高等専門学校熊本キャンパス）で結成されて活動を始め、本年、国立熊本高等専門学校八代キャンパス、県立熊本工業高等学校が加わり4校5グループとなり、本年度は29人が活動している。

【委員からの質問等】

委員から内閣総理大臣表彰に関して、「学生への表彰はどのようになされるのか」との質問があり、警察側から「学校の代表が東京での表彰式に出席され、その後、警察本部で各大学の学生へ伝達することとなる」旨の回答があった。さらに委員から「今回の受賞が一つの成功体験となり、今後の活動における士気高揚や学生一人一人の成長につながるような形での表彰伝達を検討されたい」との意見があり、警察側から「そのように検討を図ってまいりたい」旨の回答があった。

2 令和2年9月熊本県議会定例会の結果について

(1) 日程

令和2年9月11日（金）から10月8日（木）までの間

ア 代表質問・一般質問

9月18日（金）から9月29日（火）までの間

イ 教育警察常任委員会

10月2日（金）

(2) 警察関係付託議案及び報告（教育警察常任委員会）

ア 付託議案

(ア) 熊本県一般会計補正予算（4億9,731万円）

a 肉付け予算（4億5,550万2千円）

交通安全施設の整備、繁華街における防犯カメラの整備に要する経費等

b 新型コロナウイルス感染症対策予算（4,180万8千円）

警察活動における感染症対策に要する経費

(イ) 専決処分の報告及び承認（1億2,551万円）

a 警察費（1,692万1千円）

損傷、破損等した装備品等の復旧に要する経費等

b 災害復旧費（1億859万4千円）

被災した警察施設、車両の復旧に要する経費等

イ 報告

(ア) 専決処分の報告

6件の公用車交通事故の和解及び損害賠償額の決定

(イ) 公益財団法人熊本県暴力追放運動推進センターの経営状況を説明する書類の提出

令和元年度決算に関する書類及び令和2年度事業計画に関する書類の提出

(3) 警察関係質問（一般質問）

ア 自転車運転者の交通安全指導や啓発への取組について

イ 「あおり運転」根絶に向けた取組について

ウ 横断歩道における歩行者優先意識の向上等について

3 令和2年度熊本県警察嘱託警察犬競技会の開催について

(1) 競技会の目的

嘱託警察犬の訓練状況を把握し、実戦的能力の向上を図ることを目的に年1回競技会を開催している。

(2) 開催日時・場所

ア 令和2年11月6日(金)午前10時から午後4時30分頃までの間
予備日：11月17日(火)

イ 熊本県菊池郡菊陽町大字辛川2655番地 熊本県運転免許センター北側敷地

(3) 参加者等(予定)

ア 嘱託警察犬及び指導士

(ア) 本年度嘱託した嘱託警察犬19頭

(イ) 指導士6人

※ 警察犬3頭、指導士1名が不参加

イ 警察関係者

刑事部長、鑑識課長以下10人

(4) 競技内容

競技種目は、足跡追及及び捜索救助の2種目(別紙参照)とし、各競技上位3頭を表彰する。

(5) 本年度の警察犬の活動状況

本年度(4～9月現在)は、行方不明者の捜索、逃走犯人等の捜索、その他広報等の現場に35件延べ80頭の直轄警察犬及び嘱託警察犬が出動しており、うち嘱託警察犬の出動は、15件延べ28頭である。

(6) 過去5年間における警察犬の活動状況 ※ 令和2年度は9月末現在

	出 動 件 数			出 動 内 訳			効果事例数	
	直 轄	嘱 託	共 同	行方不明者捜索	事件捜査	その他		
2 年 度	35	20	5	10	33	1	1	0
元 年 度	68	31	9	28	30	4	34	4
30年度	53	35	6	12	38	4	11	5
29年度	50	42	1	7	38	1	11	1
28年度	58	37	2	19	44	5	9	3

〈 次 ペ ー ジ に 続 く 〉

【 競技種目 】

1 足跡追及

遺留品等の臭いを原臭として路面の足跡臭を追及させて、犯人や投棄された凶器等を発見する能力を審査するもの。

出場犬種 10 頭 (予定)

- ・ シェパード 10 頭

2 搜索救助

広さ約 7,000 m²の敷地内に仮想遭難者 2 人が隠れ、これを制限時間内 10 分間の間に発見救助する審査である。

山林内等における逃走犯人や行方不明者、遭難者、災害地における被災者等を搜索・救助する能力を審査するもの。

出場犬種 16 頭 (予定)

- ・ シェパード 10 頭
- ・ アメリカンピットブルテリア 2 頭
- ・ トイプードル 1 頭
- ・ ボーダーコリー 1 頭
- ・ ミニチュアダックスフント 1 頭
- ・ ラブラドルレトリバー 1 頭

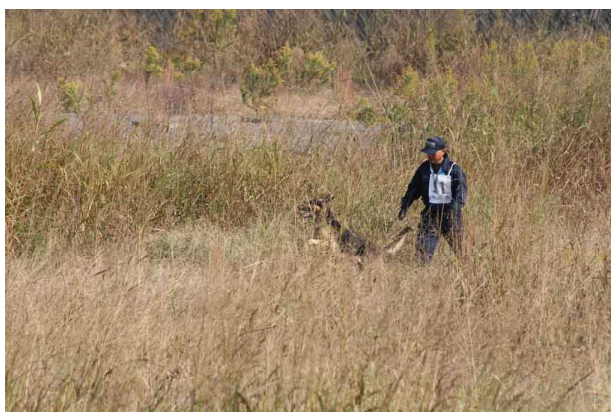
3 臭気選別

犯人が遺留した遺留物品の臭気を元に、選別台の 5 人分の臭気の中から犯人の臭気を選別して、犯人を特定する能力を審査するもの。

※ 臭気選別については、今年度は、臭気選別での囑託犬がないため実施しない。



足跡追及



搜索救助



臭気選別

【委員からの質問等】

委員から「毎年、囑託をする形となっているのか」との質問があり、警察側から「毎年行うこととなっている」旨の回答があった。さらに委員から「麻薬を探知するような犬もいるのか」との質問があり、警察側から「本県での配備・囑託はないが、必要がある場合は、配備のある他県と調整の上、対応している」旨の回答があった。

第3 報告・決裁等

1 監察業務の報告

首席監察官から報告が行われた。

2 犯罪被害者等給付金の支給裁定についての決裁

広報県民課犯罪被害者支援室長から説明があり、決裁が行われた。

3 行政処分に係る聴聞の実施についての決裁

生活環境課長から説明があり、決裁が行われた。

4 「風俗営業等法令事務取扱規則の一部を改正する規則」の制定についての決裁

生活環境課長から説明があり、決裁が行われた。

5 全国地域安全運動期間における各警察署の施策説明

生活安全企画課次席から説明が行われた。

6 繁華街特別対策室活動状況DVDの視聴

生活環境課繁華街特別対策室長補佐から説明があり、視聴が行われた。

7 令和2年第25回公安委員会会議録の決裁

公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。

8 審査請求(R2No.2)弁明書の報告

公安委員会事務室から報告が行われた。

9 審査請求(R2No.5)弁明書の報告

公安委員会事務室から報告が行われた。